

平成20年度(2008年度)第1回 池田市立図書館協議会会議録要録

日時：平成20年4月20日(日) 10時～12時

場所：池田市立図書館 2階会議室

出席者：(委員)たつみ会長、丸山副会長、松本委員、村上委員、富阪委員、雨堤委員、檜野委員
(事務局)村田教育長、花田教育次長、田淵教育部長、馬渡生涯学習推進室長、
長森図書館長、上保石橋プラザ館長代理、他図書館員5名

傍聴者：なし

<次第>

審議案件 「池田市における図書館のあり方」について

配布資料 第14期図書館協議会(議題と配布資料)
池田市立図書館将来構想(図書館職員研究会中間報告・新の改訂版)
鳥取県立図書館の目指す図書館像
いけだの本棚4月号
池田の教育

<教育長挨拶>

会長：おはようございます。それでは、20年度第1回図書館協議会を始めます。「これからの図書館のあり方」について、今まで話し合ってきましたが、先ず図書館側からの報告を館長からお願い致します。

事務局：図書館研究会の中間報告を分かり易く作り直したものをお配りしております。但しこれはまだ途中のものです。それから、今まで配布した資料の一覧です。

会長：今後の日程について、8～9月頃に答申を出したいと考えています。10月はじめに委員公募、10月末に選考、11月に新しいメンバー構成で15期協議会をスタートします。ですから終局に向かってまとめていかななくてはならない時期にきています。

副会長：前回の会議で、図書館から課題を明確にしてもらい、それについて考えていくといった意見が出ましたが、図書館の現状や個々の課題・見直しについて、職員からいただいた報告は私共の意見を反映していただいていると思います。今後はそれを基に、協議会として図書館のあり方をまとめていく方向で進めてはどうでしょうか。

委員：この協議会も2年目になりますが、1年目はいろいろな課題を出し、それについて考えてきましたが、そろそろある程度の結論を出す必要がありますし、今までに改善されてきた点も明示する必要もあると思います。また、自習室をどうするかといったスペースの問題は論議だけでなくある程度の結論を出さなくてはならないと思います。

委員：検討課題として、市の行政当局・教育委員会に対し、市の総合計画の中に図書館の基本構想・

将来像を盛り込む必要があるであろうということを、協議会の答申の中に盛り込まないとわれわれが市民の立場で論議してきたことが無駄になります。職員の将来構想では、何が足りないか、今最優先すべき課題は何かということが明示されていません。将来構想の次に、長期 - 中期 - 短期の事業計画が必要です。

会長：長期計画のハード面（駅前周辺の分館設置等）のことについては市の町づくりの中で考えていかななくてはならないことです。

事務局：次期総合計画に向けて予備段階としてのいろいろな委員会は今年度から始まりますので、協議会委員の中からどなたか応募していただくとか、庁内では教育委員会としてメンバーを送り込むことなど考えられます。

委員：総合計画に盛り込む内容の提言が必要ですが、何を盛り込むかが難しい。私はスペースの問題が最重要課題だと考えます。1, 2 階の統合や自習室のスペースの活用などの検討が必要です。

会長：今まで図書館が前向きに取り組んできたことは明記して良いと思います。ただ、できることには限界があります。第2段階として、本館の機能の見直し、最終的には駅前の分館設置等を目指すというのであれば、今日大枠を決めてもいいのですが。

委員：駅前分館構想とまではいなくても、まずは駅前周辺に本の受け渡しができる場所があればいいのかも知れません。高齢者の方も利用できるタッチパネル式蔵書検索用パソコンを設置し、予約ができ、本を受け取ることができる場所があればいいのではないのでしょうか。その後、長期計画の中で、最終的には分館の設置構想の検討も必要かと思われます。

委員：短期計画の中で実現できるような課題を提議してはどうでしょうか。まずは学校の空きスペースや公共施設を活用して、駅の周辺に図書館の分室を設置し、丘の上の本館まで行かなくても本の貸出や予約本の受け取りができるようになればいいと思います。

事務局：市全体の総合計画の中に、学校を含む教育施設に関することをどう盛り込んでいくのかということについては、教育委員会としてその方向性を出していかなくてはならないと思っています。学校改築に際し、生涯学習施設としての機能を付け加えていくようなことが必要なのかどうか 図書館協議会として、駅前近くに図書館機能が必要である、その場合の機能というのは新館建設というのではなくても、今ある資源を利用して図書館の機能を持たせるものでも良い、また、その他の地域にも分館が必要であり、それぞれが連携して図書館としての機能を果たしてこそ池田の図書館であるというような意見を出していただいています、それらを後ろ盾に市の総合計画に組み込んでいけるのではないかと思います。

委員：新しく分館を建設するのは無理でしょうし、やはり学校との併用や、市の共同利用施設を利用した分室を検討してはどうでしょうか。またソフト面では地域の人々の活用という方法も考えられます。地域分権会議等に働きかけていくのもいいと思います。

委員：例えば学校の空きスペースを利用できるのであれば、本を置き、地域の人たちがゆっくりと利用でき、読書案内もしてくれる、といったところから始めてはいいのではないのでしょうか。

委員：セキュリティの問題等、今は無理であっても今後学校の改築が進んでいく中で地域に開放で

きるように働きかけていけばいいと思います。

委員：各地域の公共施設を活用して、図書館機能の導入を提案する、また人員については市民ボランティアの活用等を中期構想として盛り込んではどうでしょうか。

委員：近隣市の図書館では、ほとんど自習室が無くなっているそうですから、池田は逆にそれを売りにしてはどうですか？

事務局：図書館から自習室が消えているのは、図書館が提供するサービスではないと考えられるようになったからです。自習というのは、図書館の本も資料も使わず、自分で持ち込んだ資料を使いますから、単に席貸しです。今は、図書館の本を置いたり、閲覧したりするスペースが不足して困っているのに、必要ないと考えられています。特に池田市の場合、各地域に自習室として使える共同利用施設がありますから、本館の1階と2階の統合時に、自習室を新たな書架スペースとして活用する方法も考えられます。

委員：滞在型、課題解決型など、本館の機能と分室の機能を分けて考える必要もあります。

会長：そろそろ時間が来ました。次回は7月6日(日)に開催したいと思いますがいかがでしょうか。次回の協議会までに、何回か会合をもち、原案をまとめたいと思います。

<全員賛同。>